

## ごあいさつ

柳川すぎ病院 院長  
杉循環器科内科病院 高齢者医療センター長  
**池田 久雄**



コロナ禍の、いつもとは違う新年を迎えました。  
早い収束を心より願っております。

最初に自己紹介をさせていただきます。久留米大学医学部を卒業し、同第3内科(現在の医学部内科学講座心臓・血管内科部門)に入局しました。以後、研修医、久留米大学病院救命救急センター、留学、医学部附属循環器病研究所、久留米大学病院循環器病センター、久留米大学医療センター診療科長などを務めました。専門分野は循環器病学です。とくに1987年、医療法人シーエムエス杉循環器科内科病院が開設された年に、私は留学のため、家族と共に米国に向かいました。その際、空港まで、わざわざ足を運んで見送りに来ていただいたのが杉 健三先生でした。「アメリカから帰って来たら杉病院で働くからね」と軽く言って、。それからなんと34年の時が流れ、医療法人3病院にて勤務するようになりました。

COVID-19の感染拡大により、我々を取り巻く環境は大きく変化しました。感染対策について、欧米諸国に比べ、日本は上手く対応していると思っています。しかし、感染対策に対し、医療と経済を二律背反的に扱うのではなく、医療体制の拡充をより優先的に行う方が、経済活動の是非に一喜一憂することなく、経済活動が実施できるのではないかと思うのは私だけでしょうか。感染拡大を機に、医療体制の「脆さ」を痛感しましたし、医療体制の迅速な「整備」による患者救済が、なによりも重要だと思われまます。

医療体制と言えば、超高齢社会を迎えた我が国において、医療・介護に関わる新たな政策が実施され、そのひとつが「地域包括ケアシステム」の構築の実現です。この施策に対する対応として、医療法人3病院において、サルコペニア/フレイル専門外来をはじめました。超高齢社会では、高齢多疾患患者の疾病管理とともに生活機能障害の予防が重要です。さらに生活機能障害の原因であるサルコペニア・フレイルは、適切な医学的介入により自立機能の維持・改善ができる可逆的な病態です。現在、大牟田市において、地域包括ケアシステムにおける「医療介護予防事業」の一環として、多職種協働で行う「サルコペニア/フレイル予防事業Omuta prevention project of SARCopenia/frAilty by commuNity-BAsed health care.(SARCANBA:さるかんば事業)」を推進しています。

これからは、「高齢者の病気だけを診るのではなく、病気をもった高齢者をどのようにケアしていくか」が、重要な臨床課題です。厚生労働省は75歳以上の後期高齢者を対象にフレイル健診を導入することを決めています。そのような中、サルコペニア/フレイル専門外来および医療介護予防事業の意義は大きいものだと考えています。これまで以上に、医療法人3病院の理念である「医学的に正しい医療」「心あたたまる医療」「地域社会への貢献」ができる病院を目指していきたいと考えています。今後とも宜しくお願い申し上げます。



医療法人シーエムエス

**杉循環器科内科病院**

〒837-0916 大牟田市大字田隈950-1 (誠修高校前)  
TEL(0944)56-1119 FAX(0944)56-2077  
E-mail:info@sugi-hosp.jp URL http://www.sugi-hosp.jp



医療法人シーエムエス

**柳川 すぎ病院**

〒832-0826  
柳川市三橋町高畑263-1  
TEL:0944-72-7171



医療法人シーエムエス

**日の出町すぎ病院**

〒836-0806  
大牟田市東新町2-2-5  
TEL:0944-55-3000

## 日の出町すぎ病院院長就任のご挨拶



日の出町すぎ病院 院長  
古賀 敬介

令和2年7月より医療法人シーエムエスグループの日の出町すぎ病院の院長に就任いたしました。

当院は平成28年7月に前身である医療法人明星会三宅病院を併合し、現在の名称となりました。その時から合わせますと50余年、まさに地域医療に根付いてきた病院と言えるのではないのでしょうか。名称は変わりましたが、この病院の役割は変わらず、地域の方々の健康を守り、「医療と介護の橋渡し」という使命はそのままです。さらには柳川すぎ病院院長の池田久雄先生が主宰されるサルコペニア/フレイルの専門外来も開設し、超高齢社会にも対応できる病院となりました。

さて、ここで今回の人事異動について、お話をしておきたいと思います。

前院長の名取省一先生は、柳川地区の糖尿病医療強化のため、柳川すぎ病院へ就任されました。当院にも非常勤として毎週水曜日に糖尿病専門外来を担当され、主として、これまでの患者さんを引き続き診療されます。また、杉循環器科内科病院の前副院長の上野高大先生をお招きして、糖尿病関連の医療をこれまでと同様に継続していきます。

当病院は、ベッド数58床の長期療養型の病院です。主に急性期医療や回復期リハビリ医療後で継続した医療が必要な方への入院治療を行っています。ここから身体状況を向上させ、ご自宅や介護施設へとその方々の状況に応じたところへとご案内しています。

医療法人シーエムエスの3つの理念「医学的に正しい医療」、「心あたたまる医療」、「地域社会への貢献」を胸に日々の診療に勤しみたいと思っています。私自身も平成11年に三宅病院に赴任して以来、今年で21年目になりました。地域の皆様方の健康をお守りし、お身体のお悩みのご相談にお応えできますよう、日々精進研鑽を積んで参ります。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

## 「最も身近な循環器疾患」

杉循環器科内科病院  
循環器内科

牟田 真人



皆さんが、循環器疾患と聞いて一番に思い浮かべる疾患は何でしょうか？心不全？心筋梗塞？もちろん、それらの病気は生命を縮める重篤な疾患ではありますが、循環器領域に置いて、最も皆さんに身近な疾患は「高血圧症」です。

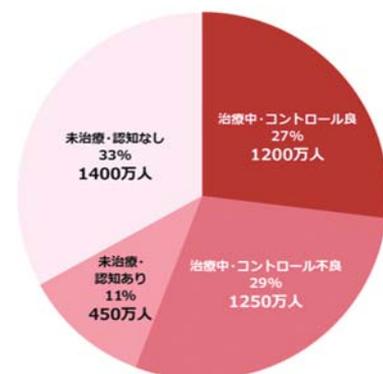
高血圧症は今や日本人の約3人に1人が罹患する、もはや国民病といっても過言ではない病気です。75歳以上に限って言えば、罹患率は70%を超えてきます。それにもかかわらず、高血圧症の患者さんの約40%は、実に「自分が高血圧症であることに気付いていない・気付いていても治療介入していない」患者さんで占められています。今回は、その現状に警鐘を鳴らすべく、このコラムを通して皆さんに理解を深めていただければ幸いです。

高血圧症の最も恐ろしいことは、自覚症状がないことです。なので、知らず知らずに健康を蝕んでいき、気付いた時には手遅れという事態にもなりかねません。今、こうしている間にもあなたの血管は傷ついているかもしれません。実際のデータに基づき話をすると、初期段階の高血圧症ですら、放置することで将来的な心臓血管・脳血管のリスクが約2倍となります。重症度が上がればそれらに比例し、さらにリスクがあがり、その他の生活習慣病(糖尿病・脂質異常症など)も合併すれば、掛け算方式にリスクが跳ね上がります。

もし皆さんが血圧に関して不安を覚えるようなことがあれば、早めに病院を受診していただくことをお勧めいたします。話を聞くだけでもあなたの将来が変わるかもしれません。私達医療従事者は、病気を治す・自覚症状をなくすことはもちろんのこと、昨今はそれらを未然に防ぐことを最大の目標としています。ぜひ、重大な病気を発症する前に、予防医学に目を向けて、生活習慣の管理をよろしくお願いします。杉病院では、これからも皆さんの病気の予防・治療に努めてまいります。

【図：わが国の高血圧有病者、薬物治療者、管理不良者などの推計数(2017年)】

高血圧有病者 4300万人  
血圧140/90mmHg以上の国民 3100万人



## 当院における感染防止対策の取り組みについて

感染対策委員会 臨床検査技師 野村 渚

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大が収束しない中、季節性インフルエンザとの同時流行も懸念されています。

患者様に安心してご利用いただけるように、当院では新型コロナウイルスの流行当初より、厚生労働省や医師会のガイドラインに従い、様々な感染対策を行ってきました。今回、新たに導入しました院内感染防止対策についてご紹介します。

### <非接触型自動温度測定システムの導入>

病院正面玄関入口にて、来院者に対する検温および手指消毒を効率的に実施するため、非接触型自動温度測定システム(サーモセンサー)を導入しました。

これにより、発熱者のスクリーニングを迅速に行うことが可能になりました。また、車椅子の方など、サーモセンサーで測定できない場合は、従来通り職員が検温を行います。

37.0℃以上の発熱がある場合には、問診にて詳細に体調等の確認をさせていただきます。

### <発熱診察所の設置>

院外に発熱診察所を設置しました。発熱やかぜ症状等のある患者様と定期受診の患者様とが院内で接触することなく、安心して受診していただけます。

### <簡易折り畳み式ブース(陰圧ブース)の設置>

集中治療室の一角に折り畳み型陰圧ブースを設置しました。室内の空気はHEPAフィルターを通じて清浄化され、ブース内は、陰圧が維持されることで、患者様からの咳などを封じ込めることができます。感染の有無が判明していない状態においても、重症者の治療を迅速に行うことができます。

### <テレビ電話を利用した面会を導入>

面会禁止や制限が続く中、事前予約制ではありますが、タブレットを用いたテレビ電話を利用したオンライン面会を導入しました。

このように当院では、感染症対策を徹底することで、患者様が安心して受診できるように取り組んでおります。患者様には、ご不便、ご面倒をお掛け致しますが、引き続き当院の新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組みにご協力頂きますようお願いいたします。



<非接触型自動温度測定システム>



<簡易折り畳み式ブース(陰圧ブース)>



<発熱診察所>



## 新入職員紹介



### 看護助手

#### 石井 幸



入職してあっという間に月日が経ち、毎日が学びの連続です。まだまだ出来ない事も多いですが、先輩方に教えて頂き、毎日少しずつでも成長できたらいいと思います。その為にも、健康に気をつけて、学生職員として、学校と仕事の両立を頑張っていきたいです。

### 看護助手

#### 中河原 旺瑠



初めは大変だったけど、看護師さんたちが丁寧に教えてくれて、今では毎日楽しく仕事をしています！



### 看護助手

#### 猿渡 美和



8月より看護助手として勤務させていただいて、4ヶ月が経ちましたが、まだまだ分からない事が多いです。ですが、周りのスタッフの方々が優しく丁寧に教えて下さり、やりがいを感じながら頑張ることができています。患者さん一人一人の気持ちに寄り添い、より安心して入院生活を過ごして頂ける様、サポートしていけたらと思います。よろしくお願致します。

### 看護助手

#### 富崎 浩貴



看護助手の仕事は想像していた事よりも忙しく、一つ一つの事を患者さんに対して丁寧に対応していくことを学びました。これからの目標は、一つ一ついろんな事を覚えていって、さらにもっと丁寧に患者さんに対応できるように頑張っていきたいです。

### 病棟

#### 准看護師 落合 未玖



入職して、半年が経過しました。周りの方に支えて頂きながら、様々な事を学ばせてもらいました。これからも、看護を行ううえで、責任感を持って頑張っていきたいと思います。

### 外来

#### 准看護師 江崎 安代



毎日笑顔で仕事ができる職場環境に感謝！これからも笑顔を決やさず、皆さんの足手まといにならない様に色々努力したいと思っています。

### 外来

#### 看護師 山田 成美



初めての外来勤務で不安が大きかったですが、優しい患者さん、先輩方のおかげでとても楽しく働いています。外来だけでなく、救急やカテにも入れるように知識を身につけ、先輩方のような看護師になれるように頑張ります。

### リハビリテーション室

#### 理学療法士 高木 健二郎



入職して半年経過し、少しずつではありますが職場に慣れてきました。入職当初は分からない事ばかりでしたが、他のリハスタッフの協力を得ながらリハ業務に従事しています。急性期の病院という特色もあり患者さんの入退院が多く、その中で理学療法士としての関わり方の難しさを感じています。患者さんの社会復帰など支援ができるよう治療を行っていきたいと思っています。

### リハビリテーション室

#### 作業療法士 北岡 恭子



2020年8月から杉循環器科内科病院で働かせていただいています。作業療法士の北岡恭子と申します。慣れない点、不安な点が多々ある中、良き先輩方やスタッフの皆さんに助けられ毎日楽しく仕事をすることができています。まだまだ学ぶことが多く、ご迷惑をおかけする事も多々あると思いますが、笑顔を決やさず、一日も早く患者さんやスタッフの方々から信頼していただける作業療法士になれるように頑張っていきます。

**病棟**



看護師 **久保 静加**

皆様に助けられながら、日々を過ごしています。  
至らない点もありますが、ご指導よろしくお願ひします。



**透析室**



准看護師 **近藤 朱花**

最初は患者さんを知ることから目標にさせてもらい、透析は患者さんの生活や日常の大きな部分を占めることを改めて感じました。  
プリセプターをしてくださった方、スタッフのみなさんには入職当初より今でも助けられているので、教えて頂いた知識や技術をしっかり身につけて、様々な場面に対応できるようになっていきたいです。

**医療機器管理室**



臨床工学技士 **山本 遼平**

初めは、毎日が新しいことの連続であつという間の半年間でした。  
先輩方からの丁寧なご指導のおかげで少しずつですが出来る事を増やしています。この半年間は仕事内容を覚えることで一杯だったので、これからは臨床工学技士としての知識や技術を高めていき、他のスタッフや患者さんから信頼される臨床工学技士を目指していきたいです。

**医療機器管理室**



臨床工学技士 **武井 和真**

入職した当初は不安でしかなかったのですが、皆さん優しく丁寧に指導してくださりととても働きやすかったです。  
これからは、皆さんから信頼されるような臨床工学技士を目指し日々努力していきたいです。

**栄養室**



**武田 麻奈**

入社した当初は、何をしたらいいのか分からなくて自分から動く事ができなかったけれど、慣れていくうちに少しずつ自分から動けるようになりました。  
まだまだこれからなので、教えてもらいながら上手に料理を作れるように頑張りたいです。

**栄養室**



**檜原 春希**

わからない事があれば先輩方に聞いたりして、1つ1つ学んできました。  
これからも真面目に頑張っていこうと思います。



**検査室**



臨床検査技士 **諸富 公**

入職して半年の間に、今まで経験していなかった生理検査にも少しずつ慣れてきました。  
救急や外来患者様への対応をもっと適切に素早く出来るよう努力していきたいと思ひます。

**検査室**



臨床検査技士 **北村 有沙**

入職してから半年が経ち、時間が経つのが早く感じました。  
業務にも初めの頃と比べると慣れてきました。  
これからは、エコー検査ができるように練習や勉強をさらにがんばっていききたいと思ひます。

**検査室**



臨床検査技士 **永嶋 千夏子**

中途採用なので、入職してから3カ月が経ちました。  
覚えることが多く、自分の不甲斐なさに落ち込むこともありますが、先輩技師の熱心な指導のもと毎日充実しています。今の目標はまず日常業務をこなせるようになることです。そして周りのことを見ながら臨機応変に仕事出来る検査技師になりたいです。

**事務室**



**大島 勇治**

施設管理として採用していただき半年が経過しようとしていますが送迎、廃棄物の運搬、機器のメンテナンスなど色々仕事をしてきました。今までの私の経験が活かせる職場と感じています。  
これからは今以上に私の知識、経験を活かし、体調に注意して職務に接したいと考えています。最後に天井のカビ取りは未経験でいろいろネットで調べて作業して上手くいきましたが、とてもきつい作業でした。

**おすすめレシピ**  
杉循環器科内科病院 栄養室

**にんじんごはん**



《材料（2人分）》

- ・米……………1合
- ・にんじん……………40g
- ・トマトジュース…100ml
- ・ツナ……………20g
- ・コンソメ……………1g
- ・パセリ……………適量



- ①にんじんはすりおろす。
- ②炊飯器に米、にんじん、トマトジュース、コンソメ、ツナを入れ軽くかき混ぜる。
- ③炊飯器の目盛りに合わせて水を入れ、スイッチを入れる。
- ④出来上がったら器に盛り付け、パセリを振りかけ完成。



今年は感染症が大流行している為、免疫力をアップしたいですね。

免疫力を高めて強いからだを作るには、人参、かぼちゃに代表される緑黄色野菜に含まれるβカロテンが有効です。体の中でビタミンAに変わって強い抗酸化作用をもち、免疫を高め、肌や粘膜を丈夫にする働きがあります。脂溶性なので油と一緒に食べると効率よく吸収できるためお好みににんじんごはんにバターを加えても良いですね。

トマトに多く含まれるリコピンもカロテンの仲間で、抗酸化作用が強く、感染症予防に効果的です。加熱によって吸収率が良くなります。トマトペーストなどの加工品は濃縮されている為より多くの栄養を摂ることができます。上手に活用してみてください！



**杉病院軟式野球部**



医療機器管理室 臨床工学技士 甲斐 弘樹

今年で当院の「杉病院軟式野球部」が結成して7年が経ちます。今でも多職種との交流も含めて、楽しく活動しております。現在の杉野球部ですが、公式戦で最多の3勝を挙げるなど、結果を出せるほどの実力をつけております!!今年は新型コロナウイルスの流行により自粛生活を余儀なくされ、杉野球部の活動も少なくなっておりますが、感染対策を徹底しながら、練習を続けております。今後も医療従事者として自覚を持ちながら、感染対策を徹底し、公式戦優勝を目標に努力を致しますので、応援のほどよろしくお願い致します。



医療法人シーエムエス  
 **杉循環器科内科病院**



関連施設

医療法人シーエムエス  
 **柳川 すぎ病院**  
 〒832-0826 柳川市三橋町高畑263-1 TEL:0944-72-7171

医療法人シーエムエス  
 **日の出町すぎ病院**  
 〒836-0806 大牟田市東新町2-2-5 TEL:0944-55-3000

社会福祉法人 木犀会  
 **特別養護老人ホーム すぎの木**  
 〒837-0905 大牟田市大字甘木44-1 TEL:0944-58-1112

社会福祉法人 木犀会  
 **ケアハウス やぶつばき**  
 デイサービスセンター ホームヘルプサービス  
 介護予防・相談センター ケアプランセンター  
 小規模多機能ホーム こどう 地域交流センター ばるす  
 〒836-0897 大牟田市青葉町130-2  
 TEL:0944-55-6666

介護付有料老人ホーム **ゆずりは**  
 〒836-0806 大牟田市東新町2丁目1-1 TEL:0944-41-2250

交通のご案内

- JR大牟田駅よりバスで約15分
- 西鉄新栄町よりバスで約10分
- JR大牟田駅よりタクシーで約8分
- 西鉄新栄町よりタクシーで約7分
- 九州新幹線 新大牟田駅よりタクシーで約5分

